日本産倍足類及び唇足類の分類学的研究
26. クビヤスデ科の2新種

三　好　保　徳

愛媛県松山北高等学校

昭和 33 年 6 月 4 日　受領

九州別府産の白色ヤスデが高桑によりクビヤスデ科 Cryptodesmidae の1亜科 Cryptodesminae の新属新種と認められ *Leucodesminus granulatus* の学名をもつて記載発表されたのは 1943 年のことであつた。ところが高桑は採集と同時にその標本の一半を Verhoeff へも送つたので，Verhoeff はこれを研究し，新科新属と認め *Kiusiunum nodulosum* の学名と Kiusiunidae の新科名とを一足はやく 1942 年に記載発表した。したがつて高桑の学名は後者のシノニムとなつていたわけであるが私は不注意にもこのことに気ずかずにいた。先年芳賀昭治氏から質問を受けたので文献をしらべてみるとまさに上記の如くであつた。これによつて私がかつて本誌に発表した同属のヤスデ *Leucodesminus melancholicus*, 1952 及び *L. verrucosus*, 1955 の2種の学名は，いまこれをそれぞれ *Kiusiunum melancholicum* (Miyosi), 及び *Kiusiunum verrucosum* (Miyosi) と改めなければならぬ次第である。なお次にまた同属の 2 新種を記載する。科，亜科の分類は Attems に従つたもので Verhoeff にはしたがわなかつた。

1. *Kiusiunum longisetum* sp. nov. (ケナガシロハダヤスデ)

雄：体長約　9mm.　体巾 3.2mm

雌：体長約 10mm.　体巾 3.5mm

頭部は全く頸板におおわれている。体色はアルコール漬では黄褐色であるが生時は白色である。ただ触角は汚赤色で短かく第6節最大。頸板は両端のとがつた楕円形で中央部は隆起し，8-9 列の不規則な顆粒の横列があり，各顆粒には長剛毛がありその先は曲つている。体節の後環節の背面はふくらみ，側庇は著しく発達し，その側縁と後縁とには多くのきれこみがあつて約 40 ばかりの小葉片状の突起を生じている。この小葉片の背面基部に小疣ありそれに剛毛を生じている。この外に後環節の背面には3横列の顆粒状隆起がならび，その各々に先の曲つた甚だ長い剛毛を生じている。ただしこの顆粒の3列は側庇の背面では前方のものが不明瞭かつ不規則になつている。他の一般的な形態においては同属の他種と甚だよく似ている。

生殖肢：腿節部の先端から4本の大突起が生じている点は同属の他種に似ているけれども腿節突起 (Abb. I, ff) が大きく2叉し，且各々の先に又小歯あること，それから parsolenomerit (ps) が単純な棘状突起であること，腿節突起の基部内側は楕円形に大きくふくらみ，その表面には微小な突起が無数にあることなどの点で他種と区別できる特徴をもつていると考えられる。

完模式標本は体長 9mm の雄，別模式標本は体長 10mm の雌。産地は滋賀県坂田郡米原町谷山の蝙蝠穴。採集者は上野俊一氏と小林直正氏。採集日は 1956 年 11 月 12 日。標本は著者が保存している。アルコール漬。

2. *Kiusiunum sekii* sp. nov. (ヤクシロハダヤスデ)

雄：体長約 11mm.　体巾約 4mm.

雌：体長約 14mm.　体巾約 4.8mm.

体色はアルコール漬で暗褐色又は黄褐色であるが生時は白色であろう。触角は汚赤色で第6節最大。頸板

は半円形，その背隆起は比較的ひくく，顆粒状隆起もひくく7-8列の不規則な横列をなしている。各顆粒の上の剛毛は頸板の縁辺のものは長くて目立つが中央部のものは短かい。ただし長いものも混生している。胴部各後環節の背面には3列又は4列の顆粒状隆起がある。側庇の背面前方ではその隆起はひくく不明瞭になっている。各顆粒にある剛毛は側庇側縁部では長いが背面中央部では甚だ短かく目だたない。又高所（花之江河，1670m）で採集された個体では背面，側縁ともに剛毛は殆どなく，極めて短いものが少数生じているにすぎない。雄の第6歩肢の胸板には扁平板状の突起が1対ある。
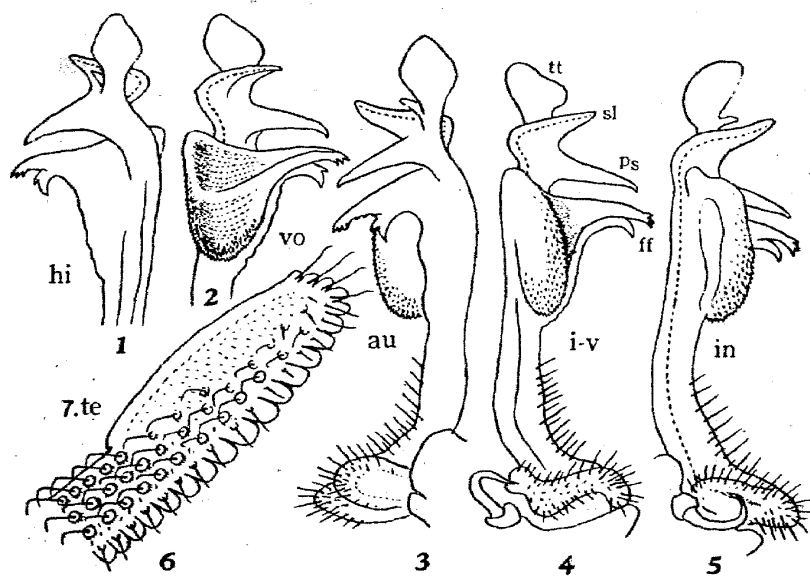
Abb. I. *Kiusiunum longisetum* sp. nov. 1-5: Gonopoden, in: von innen gesehen, i-v: von innen-vorn gesehen, au: aussen gesehen, vo: von vorn gesehen, hi: von hinten gesehen. 6: 7. Tergit des Männchens.

生殖肢：基節大形，外縁に数本の長剛毛が列生している。基節棘は正常，前腿節部の剛毛は比較的長くその数は少い。腿節部は彎曲しその後面の部は膨出していてそこには鋸歯状突起が密生している。腿節突起は外側に向い少し彎曲し縁辺に鋸歯が
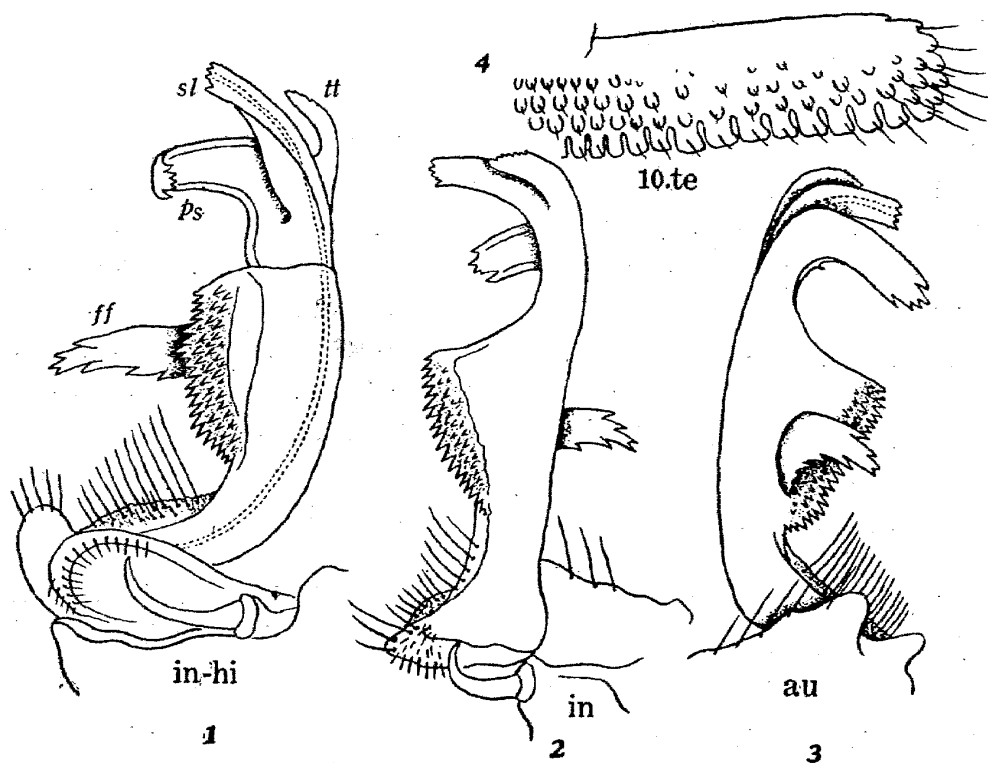
Abb. II. *Kiusiunum sekii* sp. nov. 1-3: Gonopoden, in-hi: von innen-hinten gesehen, in: von innen gesehen, au: von aussen gesehen. 4: 10. Tergit des Männchens.

ある。脛跗節部は小形で先に鋸歯縁を有す。精管枝も parsolenomerit も大形で，ともにその先に鋸歯縁を有す。脛跗節部の基部に同属他種に見られる小突起がない。これらの生殖肢の形態及び各後環節の背面に剛毛が短かく少いことなどにより本種は他種と区別できる。

完模式標本：体長 11 mm の雄，別模式標本：体長 14 mm の雌。産地：屋久島の栗生から花之江河へ登る道にそつてある朽木の下など及び花之江河 (700 m—1670 m の地)。採集者：関太郎氏で 1957 年 3 月 31 日に採集された。

以上 2 種につき，その標本を恵まれたかたがたに対しここに心からの感謝をささげる次第である。

文　　　献

Attems, C. '40 Das Tierreich, Lf., **70,** 264. 三好保徳 '52 動雑, **61,** 339 ———— '55 動雑, **64,** 186. 高桑良興 '43 Tra. N. H. S. Taiwan, **33,** 605. **Verhoeff, K. W.** '42 Archiv für. Naturgesch. **10,** 441.

Résumé

Beiträge zur Kenntnis japanischer Myriopoden
26. Aufsatz: Über zwei neue Arten von Kiusiunum (Diplopoda)

Yasunori Miyosi
Matuyama Kita Kōtōgakkō

1. *Kiusiunum longisetum* sp. nov.

Diese neue Art unterscheidet sich deutlich von der verwandten Art durch die folgenden Diagnosen:

Männchen ca 9 mm, Weibchen ca 10 mm lang. Am Rücken des Collums 8–9 Höckerchenquerreihen vorhanden, und andere Metazoniten dorsal mit 3 unregelmässigen Höckerchenquerreihen. Alles Höckerchen tragt je eine stark gebogene lange Borste. Metazonit an Seiten- und Hinterrand geteilt in ca 40 Läppchen.

Gonopoden: Femoralfortsatz am Ende zweigegabelt und jeder Ast wieder gezähnt. Parsolenomerit einfach und Hornartig. Der innere Basalteil des Femoralfortsatzs ist geschwollen und bildet einen kopfkissenförmigen Buckkel, der zahlreiche winzige Zähnchen besitzt.

Material: Holotype, ein Männchen von ca 9 mm Länge. Allotype, ein Weibchen von ca 10 mm Länge. Fundort: Taniyama-no-komori-ana, Maibara-cho, Shiga-ken.

2. *Kiusiunum sekii* sp. nov.

Diese neue Art unterscheidet sich klar von der verwandten Art durch die folgenden Diagnosen:

Männchen ca 11 mm, Weibchen ca 14 mm lang. Metazoniten dorsal mit 3–4 unregelmässigen Höckerchenquerreihen. Borste auf des Höckerchen im Mittelgebiet des Metazonits ist sehr kurz, oder fast fehlen, und die im Randgebiet ist lang. Zwischen den Hüften des 6. Beinpaares des Männchens zwei plattenförmigen Fortsätze vorhanden.

Gonopoden: wie sie sich in Abb. II zeigen. Holotype: Männchen, 11 mm lang. Allotype: Weibchen, 14 mm lang. Fundort: Yaku-shima.